

令和5年度第1回瀬戸市図書館協議会
議事録

日時：令和5年10月11日（水）午前10時から11時45分まで

場所：瀬戸市立図書館 1階 集会室

出席者：14名

<会長> 中井 孝幸

<委員> 加藤 和守（副会長）、石川 良文、加藤 絹子、加藤 淳、金澤 一
近藤 彰住、佐合 浩史、吉田 祐三子

<事務局> 教育部長 磯村 玲子、図書館長 吉村 きみ、図書館専門員 幸村 弘美、図書館
主任 山田 聖

<オブザーバー> 株式会社リブネット 永田 亜紗子

欠席者：柴田 優子

傍聴者：3名

議事内容：

1 開会

事務局(専門員)進行

- ・ 会議成立の報告
- ・ 傍聴者へ注意事項の説明
- ・ 委員へ議事内容記録のための録音の説明
- ・ 閉会予定時刻の説明

2 あいさつ

○事務局(部長)

図書館のあり方については、方向性等が長年に渡り議論されてきた。平成27年度に図書館基本構想が出来て令和2年度に現在の図書館利活用計画が策定された。本市の図書館の特長は、本館と7つの地域図書館、情報ライブラリーが図書館ネットワークという形で、サービスを提供していること。あわせて年間で約30万人が訪れる、市内でも最も利用の多い施設の1つである。

今年の9月議会で3,350万円の補正予算が議決され、いよいよ利活用計画に沿って本館の長寿命化改修工事の設計に入ることとなった。業者が決定した後、令和6年末までで設計、令和7年1月から着工という予定のスケジュールになっている。

新しいコンセプト「大人がゆっくり楽しめる 子どもも一緒に楽しめる」の下、滞在型のゆっくりと楽しめるような図書館づくりを目指すため、引き続き委員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りたい。

限られた予算内で、市民の皆様からいただいた非常に多くの意見を可能な限り反映できるよう努めていく。

○事務局(専門員)

・ 資料確認

3 委員紹介

○事務局(専門員)

配布資料 1 に基づいて紹介。

瀬戸市図書館協議会条例第 3 条の協議会は委員 10 人以内で組織するという規定に基づき、10 人の委員を選任している。佐合委員は前任者退職に伴い、柴田委員は前任者異動に伴い、就任。

4 議事

○事務局(専門員)

議事に移る。議事については、瀬戸市図書館協議会条例第 8 条第 1 項の規定に基づき中井会長を議長として進行をお願いする。

○会長

ようやく動き始めたことを安堵している。

全国の図書館を見て回っている中で、瀬戸市のユニークな取り組みとして中学校区に一つ、司書を派遣して公共図書館として開けている地域図書館という取り組みは全国でも非常に珍しい。市という大きなエリアの中で、学校図書館を核として、地域隅々までいきわたるよう取り組んでいる。地域図書館→本館→県立図書館というスプリングボード(次の行動に移るためのきっかけ)の中で、本館の整備は重要。デザインや蔵書等、色んなサービスを提供できるよう、地域全体で役割分担をしながら考えていっていただきたい。

これからの図書館の活動をサポートするため本日もよろしくお願いしたい。

(1) 瀬戸市立図書館令和 4 年度利用状況について

事務局(専門員)から資料 2 の 14・15 ページに基づき説明。それ以前のページは、前回の協議会で説明済みのため割愛。

○会長

事務局からの説明に対しご意見・ご質問等はあるか。

○委員

①地域図書館 光陵中の利用者数が少ない。一方、にじの丘学園は多い。地域図書館内でも利用の格差があるが、事務局として、このあたりはどう考察されているか。

②以前、光陵中の地域図書館に行ってみたところ、場所が分からず、利用できなかった。見つけにくいという構造上の問題についてもどう思われるか。

○事務局(図書館長)

①地域図書館としての光陵中学の入館利用者数は上から 3 番目。表中の利用者数(貸出者数を指す)及び貸出冊数には、土日祝だけではなく、平日の学校図書館を利用している生徒の数字も入っている。表からは判断できない部分。申し訳ない。

②分かりにくい構造としては、対策として地域図書館への案内看板を建てている。ただし、

校門側からは分かりづらいという課題はあるため、改善したい。

3階にあるところも、サポーターさんが窓ガラスに案内を貼ってくれている。ただ、より工夫をしていく必要があると思う。

その他の学校についても同様。HPで、にじの丘地域図書館への行き方を写真付きで掲載しているが、他の学校についても同様にやっていきたいと思っている。

○委員

(光陵中の校長としての意見)分かりにくく申し訳ない。非常階段を利用して向かう形になっている。3階まで向かうのは高齢の方には苦になると感じている。今後、光陵中学校の中の配置を変えては、という話も出ている。そこで1階に移すことが出来れば、利便性も上がり外からも分かりやすくなるのではと思っている。また、防犯のため、土日祝日は南門にチェーンをしている。地域図書館があるからと外すわけにはいかないが、分かりやすくなるような工夫は必要と思う。

○会長

土日だけ外部向けに開放という条件下で考えられていると思う。ただ、非常階段を使用して向かうのは分かりにくい。今後も長く続いていく取り組みと思われるため、費用をかけて、「図書館はこちら」というような、駐車場から誘導できるサイン・案内等を設けてはどうか。

○委員

①電子図書館について これから工事もあり、休館するのであれば、電子図書館の利用者も増えると思われるため、充実させてはどうか。また、著作権が2年で買い替えとのことだが、将来的に効率的でない。買い切り型も増えてきていると昨年お聞きしたが、現状はどうか。

②2. 貸出状況 地域図書館の視聴覚資料について39件の貸出がある。令和元年読書バリアフリー法が成立し、色々な形で本にアクセスできるようになっている。今後、図書館として地域図書館に本を入れる際に、どのような考えをお持ちか。

○事務局（図書館長）

①電子書籍の使用料については、52回まで借りられる方式又は2年で買い替え方式の2パターンがある。4,000件ほどは電子書籍の予算を毎年確保している。資料によっては、永久ライセンスのものもあるため、そういったものも取り入れながら、資料の充実を図る。

②ここで言っている視聴覚資料はDVDやCDのこと。件数は、本館所蔵の資料の受取館を地域図書館とされた数。今後、本館のものを地域図書館に移管する予定はないが、本館にある資料の受取場所を地域図書館に出来るサービスは、今後もPRしながら続けていきたい。

○委員

電子図書館の利用者が多くないように思える。利用されている方はどれぐらいの年代か。

○事務局（図書館長）

30～40代の女性が多い。これは紙の本と同じ傾向である。

○会長

全く読んでない方がいきなり電子図書館から使い始めるという形は少ないように思う。よく紙の書籍を利用されている方が、電子図書館「も」使おうというケースが多いと思われる。

ちなみに、本館からの距離ごとでの利用者は抽出できるか？距離の相関関係は確認できない

か。

○事務局（図書館長）

現システムでは抽出出来ない。

○会長

承知した。利用研究という面で興味があったため確認した。

他に意見や質問がないようなので次の議事に進む。進行を事務局に戻す。

(2) 図書館まつりについて

○事務局（図書館長）

資料3に沿って説明・報告。

○会長

事務局からの説明に対しご意見・ご質問等はあるか。

○委員

文学カフェは、昨年愛知県図書館でも開催したが非常に好評だった。鉄道というテーマは幅広い年齢層に人気がある良い企画。

○会長

他に意見や質問がないようなので次の議事に進む。進行を事務局に戻す。

(3) 図書館利活用計画の進捗状況について

○事務局（図書館長）

資料4・資料5及び図書館利活用計画と共に説明

○会長

事務局からの説明に対しご意見・ご質問等はあるか。

○委員

市民代表として要望。

図書館の役割を3つに分けるということについて。周知はいただいているため、市民の皆様も把握いただいている。利用者が高齢化して、本館に来られなくなる方も増えている。受取先を地域図書館等にすることで利用し続けている。そういった方たちの意見で、本館がスリム化して各館で役割が分かれると、例えば情報ライブラリーでは勉強の本しか配架されない、というようなことにならないか。自分たちが本館の蚊帳の外になってしまうのでは、という印象を受けている。

要望としては、本館の設計が出た段階で、設計図や館内図等を市民にも周知していただき、こう変わる、とわかるようにしてもらいたい。

○事務局(図書館長)

どういう形になるか、周知できる段階になれば、市民の方に周知したいと思っている。

所蔵に関しては、事前にPCで予約をして、近くの地域図書館に取りに行く、ということが出来る。そこはネットワーク化をした瀬戸市の図書館サービスの強みではある。不便をおかけすることはあるが、行った時に、その場所に欲しい本がない、ということを完全に解消するこ

とは難しい。色々なサービスを活用いただき、上手にご利用いただけたらと思う。

こういう部分が不便である等のお声は今後もご意見としていただき解消・改善に向けて尽力していくので、今後ともお願いしたい。

○会長

どういう形になるか、できるだけ広く、市民の方にお見せいただければと思う。

○委員

学校現場では、子どもたちが主体的・対話的に、深い学びをさせていこうということで、先生たちの教え方もティーチングからコーチングに変わってきている。愛知県で今年から、ラーケーションという制度が始まった。その中で、アクティブラーニングや学習スペース、親子での利用ということを改修方針・施設利用イメージとして入れていただけるのは、小中学生にとってありがたい。全国学力テストや学力状況調査で、新聞や本にまつわる部分と学力との相関関係にあることは、何年かの経過を見ても、明らか。子どもたちに積極的に活用してもらいたい。

また、昨年度も要望させていただいたが、陶原・長根・水無瀬中学校ブロックに地域図書館が無い。計画に入れてもらえるとありがたい、という要望。

○事務局(図書館長)

地域図書館は中学校区に1つという計画である。今後の中期事業であげていき、進めていきたい。

○委員

書庫について。どこの図書館も容量はいっぱいになっている。かなりのスペースを要する改修と思われるが。書庫スペースについてはどうお考えか。

○事務局(図書館長)

昭和56年から事務室上階に電動集密書架がある。資料4 ハード関係のところに掲載しているが、「電動集密書架改修工事」を行い、電動書庫を3年かけて改修した。その結果、今まで書架内にあった安全停止バーがセンサーに変わり、収納スペースが増えた。また、引き続き整理を続けることで、スペースを確保していく。

愛知県内では歴史の長い図書館でもあり、古い資料も多い。ラストワン(愛知県内で残り1冊しかない資料は愛知県図書館で保管いただける制度)も多いと思われるので、今後もスペースを確保し、歴史ある資料を大切にしていきたい。

○委員

ラストワンに関しては愛知県図書館に各市町村の図書館から年間5,000冊届いている。

外部に保存書庫というのは考えられていないか。

○事務局(図書館長)

考えていない。

○委員

9月に、ぎふメディアコスモスへ行ってきた。中高生がとても多く利用しており、勉強やグループワークをやっていて、活気があった。

グループワークは、うるさいと思われるかもしれないが、喋っても良いゾーンと静かに読書

できるゾーンとで分かれていたため、良い雰囲気だった。色んな制約があるなか難しいかもしれないが、子どもたちの成長につながると思うため、そんな設計を目指してほしい。

改修に合わせて地域図書館との関係性も改善していくべきと思う。通ったことの無い学校が地域図書館になっている連区の子は、利用しづらい部分もある。色んな地域の方が利用しやすいような工夫・場所を考えるのも大事。光陵中学校区である菱野団地は高齢化率が40数%と瀬戸市内でも非常に高い。その方々が光陵中学校3階の地域図書館を利用したいと思っても辛いと思う。色んな変化がある中で地域図書館がどうあるべきか、本館のリノベーションに加え、地域図書館等の改善も同時に行なってほしい。

○事務局(図書館長)

ぎふメディアコスモスについては習うところもあると思う。

子ども・若者ミーティングや高校生ミーティングの中で、グループ学習がしたい、仕切りのある個別学習ができるブースが欲しい等の意見があった。ゾーニングは大事と思っている。設計業者と話し合いながら、良いつくりを目指していきたい。

前回の協議会でも報告したが、テラス席の整備以降、集会室に空きがあるのに、藤棚の下のテーブル席で勉強・グループ学習している子達の姿もよく見られる。こういった実情からも、グループ学習可能な場所が必要ということは思っている。

若い方々の意見は、自分たちに無い観点から貰えるものもあり、非常に参考になる。今後もそういった意見を取り入れながら、施設面だけでなく、図書館としてどんな姿でありたいかという部分にも応えられるような図書館運営をしていきたい。

地域図書館について、光陵中は3階で高齢の利用者も多く、ご意見も頂戴している。すぐの改善は難しいが、菱野地区の整備が進む中、1階におろすチャンスがあれば見逃さないようにしたい。

○委員

補足。光陵中のケースは、高齢者に加えベビーカーの子連れの方など、若い方々でも行けない人は居る。地域図書館が始まる前に、1階にしてはどうかという意見も出ていたが、生徒数が増えるため1階にはできない、という経緯がある。

○会長

本館と地域館の役割分担が大事と思う。

滋賀県は、本を周辺の住民には貸さないこと、という厳しいルールのもと、補助金を出している。沢山のきちんとした所に造ってほしいということで、このようなルールとのこと。その分、予算も他と比べて1.5倍程あり、立派な図書館が滋賀県内に建っている。地区ごとの特色に合わせて、この種類の本はココ！という強みを持っている。

東近江市は1市6町が合併したが、その際、それまでは他市町だったため使用できなかった図書館が1つの市として使用可能になった。これにより、ハイレベルな地域の使い分けをするようになった。7館がそれぞれ成長していたため、7館を「このジャンルは、この館」というように蔵書の専門性を付与した。視聴覚資料が充実している館や子ども向け絵本が充実している館、病院の近くにある館は薬や医療の本が充実している館など。車利用前提という部分は問題ではあるものの、特色がある。

島根県の海士町というところも有名。島丸ごと図書館という場所。学校に学校司書でなく図書館司書を派遣している。学校にある地域図書館の整備後に本館の整備を行なった。本館 200㎡くらいの小さな図書館だったため、小学生以降の子どもの本は本館に置かず地域図書館に置く。本館には小学生未満の子ども向け絵本と一般の本のみ、という思い切った方法をとっている。瀬戸も限られた広さであるため、色々なアイデアを出していく中で思い切った決断が必要となることも考えられる。先進事例を参考にしていってほしい。

飲食をどこまで許容するかということも大事。若い子たちが外を使用する理由の一つとも思われる。飲食スペースの設置は重要と思われる。

図書館についての調査をしたところ、一般利用者は大体30分くらい、長くとも1時間で退館されるため、回転率が高い。一方、学生さん達は勉強目的なので滞在時間が長い。例えば閲覧席が20席しかないで20人しか来てない形になる。いつも賑わっているようにはみえても、同じ人が長時間使っている可能性もある。多くの人が利用できるよう、席に時間制限を設けるというのも一つ手ではある。色々な所で、貸出カードが席予約に必要というところもある。席を沢山用意できれば良いが、そうもいかないため、皆さんが気持ちよく使用できるような工夫が必要。狭いからこそ、ゾーニングをしっかりと考えなければならない。

調査時にアンケートを取ると、一方では「うるさい」もう一方では「うるさいと叱られた」という回答ばかりになる。この不毛とも思われる戦いを発生させないようなゾーニングをしてほしい。個人的には、雑誌・新聞コーナーを分けては、と思っている。新聞コーナーを静かなゾーン、雑誌は賑やかなゾーンにする。雑誌を読んでいる親御さんの近くで子どもが親に話しかけても叱られないよう分けると良いのでは。ちょっとした配架の工夫で解消されることもある。

今後設計時にも、色々なアイデアを出し合って考えていってほしい。

○委員

各公民館の入れ替え図書の利用率のデータはあるか。

自分の属している所は大体、10人程度が一月に2回利用されるが、他はどうか気になった。地域図書館があるため、公民館で借りられる方は少なくなっているのではとも思う。高齢で遠くに行けなくなった方でも、公民館で本を借りて読書が出来るというアピールをして、活発化を図ろうかと思う。データがあれば、それを踏まえてアピールしたいと思う。

○事務局(専門員)

先日、図書の貸出をしている公民館に貸出方法等の状況調査をしたが、人数までは求めなかったため、利用率は不明。貸出状況については、どの館からも「少ない」「借りる方は同じ方のみ」という現状。ちなみに、貸出方法や期間については、公民館に一任している。

○委員

長根公民館は寄贈で集めており、蔵書が古く、借りられる方もほとんど居ない。主に夏休み期間中は子どもたちの勉強の場になっている。連区に図書館がないので、蔵書をもう少し増やしてもらえと、利用も増えるのでは、と思う。

○事務局(図書館長)

入れ替え前に、公民館にリクエストを聞いている。利用状況・方法は公民館に委ねる。公民館を介して、リクエストを図書館に伝えていただき、それを基に入れ替えをさせていただいている。

○会長

参考までに、先ほどの海士町が公民館図書室として分館になっている図書室がある。そこは無人で本棚も一つ置いてあるだけ。セルフで記録し、借りていく方式。定期的に中の本棚が変わっていく方式。所蔵が変わることで利用が増えるという可能性はある。

○委員

ゾーニング等、施設の機能面に加えて、デザインも良いものにしてもらいたい。

ぎふメディアコスモスに行った際、入った瞬間「良い場所だな」と非常に印象に残った。「もう一回行こう」と思ってもらうためには、デザイン性は非常に大きな要素だと感じている。

図書館というのは地域にとっては、文化のシンボルのようなもの。南山大学には岐阜市出身の学生も通っているが、皆、口を揃えて「私たちの図書館は良い」と言い、誇りを持っている。学生の卒論で、瀬戸市の中高生にシビックプライドの調査をしたところ、非常に低かった。このシビックプライドは、意外と施設も関係しているので、文化のシンボルである図書館デザインが良くなることで、シビックプライドの向上につながると思う。陶壁がある外側は今のままで良いと思うので、中のデザインも良い印象を与えられるものにしてほしい。

○会長

他、意見や質問ないか。議事終了したため、進行を事務局に戻す。

4 その他

議長から引き継ぎ、事務局が進行

○事務局（専門員）

図書館友の会が主催の田原市中央図書館の見学会がある。

○会長

田原市は非常に良い図書館。10年以上経過しているが、図書館に関連するボランティアさんが活動できるフリースペースが用意されている。そこで除籍本を売るといったことが日常的に開かれている。また、市全体のボランティア団体の方が集まる会議も開催されており、ボランティア団体と図書館とが親密な関係を築けている。そのため、図書館まつりでも、ボランティアさんで企画をされて盛り上げられている。

こういった活動を長い間続けられているため、そういった部分も確認いただければと思う。

5 閉会

次回の図書館協議会は改修工事設計の進捗報告が出来るタイミングでの開催予定。

令和５年度第１回瀬戸市図書館協議会
次 第

日時：令和５年１０月１１日
午前１０時～１１時３０分
会場：瀬戸市立図書館集会室

１ 開 会

２ あいさつ

３ 委員紹介

資料１

４ 議 事

（１）瀬戸市立図書館令和４年度利用状況について

資料２

（２）図書館まつりについて

資料３

（３）図書館利活用計画の進捗状況について

資料４

資料５

５ その他

６ 閉 会

瀬戸市図書館協議会委員名簿

任期：令和４年６月１日～令和６年５月３１日

(敬称略)

区分（条例第５条該当号）	所属・団体	役職	氏名
学校教育関係者（１号）	瀬戸市立陶原小学校	校長	加藤 淳
学校教育関係者（１号）	瀬戸市立光陵中学校	校長	佐合 浩史（※１）
社会教育関係者（１号）	瀬戸市公民館協議会	会長	加藤 和守
社会教育関係者（１号）	愛知芸術文化センター愛知県図書館	資料支援課長	近藤 彰住
図書館利用者（２号）	瀬戸図書館友の会	会長	加藤 絹子
図書館利用者（２号）	瀬戸市立水南保育園	園長	柴田 優子（※１）
学識経験者（３号）	南山大学総合政策学部	教授	石川 良文
学識経験者（３号）	愛知工業大学工学部	教授	中井 孝幸
市民公募（４号）	市民公募		金澤 一
市民公募（４号）	市民公募		吉田 祐三子

10名

※１は前任者退職による交代につき、任期令和５年４月１日～令和６年５月３１日まで

8 利用状況・蔵書状況（令和4年度）

資料 2

1. 総括表

1. 総括表				合 計	前年度合計	月平均	前年度 月平均	対前年比(%)
本館 (学校配達分含む)		開 館 日 数		338	291	28	29	116.2%
		入 館 者 数		197,522	141,030	16,460	14,103	140.1%
		個人 貸出	利用者数(人)	100,582	86,769	8,382	8,677	115.9%
			貸出冊数(冊)	438,611	383,767	36,551	38,377	114.3%
		新 規 登 録 者 数		2,053	2,045	171	205	100.4%
		団体貸出	貸出冊数(冊)	25,958	22,229	2,163	2,223	116.8%
情報 ライブラリー		開 館 日 数		347	200	29	20	173.5%
		入 館 者 数		49,851	29,137	4,154	2,914	171.1%
		貸出	利用者数(人)	13,694	9,282	1,141	928	147.5%
			貸出冊数(冊)	36,712	26,070	3,059	2,607	140.8%
地域 図 書 館	品野台小(宝島) 平成18年開館	貸出	利用者数(人)	1,701	2,190	142	219	77.7%
			貸出冊数(冊)	4,747	6,055	396	606	78.4%
	光陵中 平成20年開館	貸出	利用者数(人)	1,267	1,050	106	105	120.7%
			貸出冊数(冊)	3,733	2,810	311	281	132.8%
	西陵小 平成21年開館	貸出	利用者数(人)	7,614	9,095	635	910	83.7%
			貸出冊数(冊)	11,109	11,996	926	1,200	92.6%
	水野小 平成22年開館	貸出	利用者数(人)	4,527	4,338	377	434	104.4%
			貸出冊数(冊)	9,594	8,479	800	848	113.2%
	東山小 平成23年開館	貸出	利用者数(人)	6,692	9,137	558	914	73.2%
			貸出冊数(冊)	8,100	10,054	675	1,005	80.6%
	幡山西小 平成29年10月開館	貸出	利用者数(人)	10,729	9,207	894	921	116.5%
			貸出冊数(冊)	18,860	15,232	1,572	1,523	123.8%
	にじの丘学園 令和2年10月開館	貸出	利用者数(人)	20,788	19,446	1,732	1,945	106.9%
			貸出冊数(冊)	36,740	30,470	3,062	3,047	120.6%
総 貸 出 冊 数				594,164	517,162	49,514	51,716	114.9%

☆令和3年度月平均は臨時休館を鑑み、10ヶ月で算出

2. 貸出状況

総貸出数	貸 出 場 所			計	構 成 比	前年度 実績	増減数
資料区分	本 館	情報ライブラリー	地域図書館				
一 般 書	230,514	21,772	7,713	259,999	43.8%	222,577	37,422
児 童 書	206,560	7,740	84,590	298,890	50.3%	263,811	35,079
郷土資料	1,240	44	102	1,386	0.2%	1,190	196
点字・大活字本	8,572	722	309	9,603	1.6%	7,428	2,175
小 計	446,886	30,278	92,714	569,878		495,006	74,872
雑 誌	12,058	5,127	130	17,315	2.9%	15,230	2,085
視聴覚資料	5,625	1,307	39	6,971	1.2%	6,926	45
小 計	17,683	6,434	169	24,286		22,156	2,130
合 計	464,569	36,712	92,883	594,164		517,162	77,002

3. 蔵書状況

資料区分	前年度蔵書数	購入	寄贈/他	除籍・変更	年度末蔵書数	増減
一般書	211,160	5,561	180	3,819	213,082	1,922
児童書	98,997	3,953	68	2,858	100,160	1,163
郷土資料	16,533	59	253	-15	16,860	327
点字・大活字本	3,214	79	6	55	3,244	30
小計	329,904	9,652	507	6,717	333,346	3,442
雑誌	9,067	2,806	13	2,751	9,135	68
視聴覚資料	2,704	34	1	31	2,708	4
小計	11,771	2,840	14	2,782	11,843	72
合計	341,675	12,492	521	9,499	345,189	3,514

4. 予約状況

	4年度	3年度	月平均	増減数	対前年比(%)	WEB 利用 割合
全体数	50,627	49,710	4,219	917	101.8%	
内OPAC利用	4,151	4,084	346	67	101.6%	
内WEB利用	34,497	34,446	2,875	51	100.1%	

5. 利用者用パソコン利用状況 (PCルーム内)

		4年度計	3年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
インターネット 3台	人数	217	0	18	18	
	時間	196	0	16	16	
CD・DVD視聴 3台	人数	2	0	0	0	
	時間	2	0	0	0	
PC持込利用	人数	0	0	0	0	
	時間	0	0	0	0	

※本館Wi-Fiサービスあり (CD・DVD視聴およびPC持込利用: 平成20年度開始)

☆令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、PCルームの利用を中止した。

☆令和4年度は6月23日からPC2台、CD・DVDは1台で再開した。

6. 情報ライブラリー利用者用パソコン利用状況 (インターネット用4台設置)

		4年度計	3年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
インターネット	人数	357	0	30	30	
	時間	367	0	31	31	

※パーティセと3階交流広場Wi-Fiサービスあり

☆令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、パソコン利用を中止した。

☆令和4年度は6月23日から再開した。

7. 電子図書館利用状況 (令和3年2月25日電子図書館開始)

	4年度計	3年度計	月平均
貸出冊数	5,457	5,260	455
延べ利用者数	7,372	9,958	614
実利用者数	767	1,023	64

第27回「図書館まつり」の開催について

図書館では、読書週間（10月27日～11月9日）にあわせ、「図書館まつり」を開催します。

内 容	日 時	場 所	定員等
映画上映会 『シェイクスピアその魅力に迫る～ 十二夜/お気に召すまま』 案内役：ジョエリー・リチャードソン 日本語字幕 50 分 上映後、感想などを参加者同士で伝え合います。	10 月 18 日（水） 午前 10 時～11 時 30 分	図書館 1 階 集会室	・定員 25 名（先着順） 直接会場へ （9 時 45 分から入場可）
瀬戸市みんなの生活展 身近な SDGs「エシカル消費」を知ってみよう！	10 月 26 日（木）～ 11 月 21 日（火）	図書館 2 階 市民ギャラリー	・自由参加
「健口の大切さ」 ～知っていますか？歯の健康と健康寿命の関係～ 11 月 8 日のいい歯の日にちなみ、歯科保健の推進のため歯・口の健康の維持・増進を図ります。	10 月 26 日（木）～ 11 月 21 日（火）	図書館 1 階 玄関展示	・自由参加
キッズルームで遊ぼうよ！ 子ども専用スペースで、親子で楽しく絵本を読むことができます。また、ミニ絵本作りなども自由にできます。	10 月 26 日（木）～ 11 月 2 日（木） 午前 9 時～午後 6 時 （最終日は午後 4 時まで）	図書館 1 階 集会室	・自由参加 ＜期間中は毎日読み聞かせを実施＞ 午前 11 時～11 時 30 分
子ども一日司書 カウンターでの図書の貸出・返却や本のカバーかけなど、図書館の仕事を体験してみよう！	11 月 5 日（日） 午前 10 時～午後 3 時	図書館	・10/1(日)から QR コードで申込 ・対象：5・6 年生 6 名（先着順）
高校生ビブリオバトル 2023 高校生がお薦めの本を発表し合い参観者らが一番読みたいと思う本に投票し「チャンプ本」を決めます。 特別審査員に瀬戸市出身のアナウンサー 長江麻美氏をお迎えします。	11 月 12 日（日） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 ※発表者の人数により終了時間が前後する可能性あり	図書館 1 階 集会室	＜参観者募集＞ ・10/2(月)9 時から QR コードまたは電話で申込 ・20 名（先着順）
本のリサイクル市 （図書館友の会共催） 図書館の保存期限が過ぎた本を無料提供します。	11 月 3 日（金・祝） 午前 9 時～なくなり次第終了	図書館 1 階 集会室	・自由参加 ・1 入場 10 冊まで
瀬戸高校の図書館まつりを見に行こう 図書館一般開放期間に合わせ瀬戸市立図書館から参加します。 “100 周年の世界”	11 月 8 日（水） 午後 3 時から 5 時	瀬戸高校	・10/2（月）9 時から 電話で申込 ・20 名（先着順）
文学カフェ 「せとでん『お堀電車』の時代」 講師：山田司（瀬戸鉄道倶楽部）	11 月 11 日（土） 午前 10 時～11 時 30 分	図書館 1 階 集会室	・10/2（月）9 時から 電話で申込 ・20 名（先着順）

瀬戸市図書館利活用計画(5ヶ年計画)進捗状況&スケジュール(案)

	2020年度(R2)		2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)			2024(R6)			2025(R7)																						
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
	第6次瀬戸市総合計画（H29～R8 10年間）／第2次瀬戸市教育アクションプラン（H28～R7 10年間）																																				
	※第2次教育アクションプラン基本施策8「図書館サービスの充実」(図書館施設の整備や充実/図書館ネットワークの整備)・市民がくつろぎの空間の中で、自ら学ぶことができ、暮らしに役立つ情報を享受し、市民の学びと交流の場になっている。																																				
	中期事業計画 令和2年度 実施計画	中期事業計画 令和3年度 実施計画					中期事業計画 令和4年度 実施計画					中期事業計画 令和5年度 実施計画					中期事業計画 令和6年度 実施計画					中期事業計画 令和7年度 実施計画															
図書館利用 5ヶ年計画	骨子作成 利活用計画 作成	ハード・ソフト改修実施																																			
ハード関係	本館	改修工事基本計画(案)策定					9月補正予算上程					設計業者選定(公募型プロポーザル)					設計 R5. 11. 1～R6. 8. 21					工事業者選定(一般入札)					12月議会(工事業者議決)					工事 R7. 1月～R8. 2月 休館期間有					R8年3月 本館 リニューアルオープン予定
		電動集密書架改修工事																																			
		外壁(陶壁画)落下防止工事																																			
		下水道敷設工事																																			
		テラス修繕工事																																			
市民・関係団体への周知 意見反映	利活用計画案への 意見収集	利活用計画に基づく図書館改修についての意見収集					4月、7月 友の会(説明会) 7月 図書館活動団体(説明会) 7月 一般講演会 7月 高校生ミーティング 8月 子ども・若者ミーティング 10月 子ども読書活動推進会議 12月 図書館活動団体					7月 友の会(説明会) 高校生ミーティング ワークショップ(わくわく図書館づくり) 12月 図書館活動団体																									
	・図書館協議会 ・市民(意見箱等) ・図書館活動団体 ・友の会	・図書館協議会 ・図書館活動団体 ・講演会「これからの図書館を考える」																																			
ソフト関係	資料の調達方法の見直し						・MARCの変更 ・地元書店による装備付き資料の調達 福祉団体による装備の実現																														
	図書館サポーター組織づくり						・エディター養成講座(第2期)の開催 修了生13名 ・エディターブログのページ開設 ・エディター・ステップアップ講座の開催																														
		・エディター養成講座の開催 修了生17名																																			

地域図書館

地域図書館とは

「身近な場所に身近な図書館を」 この言葉を合言葉に、学校図書館を活用して、地域に開放した図書館です。瀬戸市立図書館（本館）が管理運営する分館となっており、本の貸出・予約など本館同様のサービスが受けられます。読書や勉強をするスペースもあります。子どもたちの利用も大歓迎。学校の試験勉強などにもご活用ください。

ち い き と し ょ か ん
地域図書館は、次の学校内にあります

し な の だ い し ょ う が っ こ う せ い り ょ う し ょ う が っ こ う み ず の し ょ う が っ こ う
◇品野台小学校◇西陵小学校◇水野小学校

ひ が し や ま し ょ う が っ こ う は た や ま に し し ょ う が っ こ う こ う り ょ う ち ゅ う が っ こ う
◇東山小学校◇幡山西小学校◇光陵中学校

お か が く え ん け い こ う
◇にじの丘学園 (計7校)

くわ
詳しくはコチラ



- ・平日は学校図書館ですので、一般の方の利用はできませんが、土・日・祝日は地域図書館として、どなたでも利用いただけます（お住まいの地区以外の地域図書館もご利用いただけます）。 駐車場あり。
- ・本を借りるルールなどは、瀬戸市立図書館本館と同じです。市立図書館（本館）の利用カードで、図書の貸出を行っています（利用カードの作成もできます）。本館にある図書を予約して、地域図書館に取り寄せ、借りていただくこともできます。
- ・読書や勉強をするスペースもあります。
- ・職員もおりますので、ご不明な点があればお気軽にお尋ねいただき、ご利用ください。

開館日・開館時間

土曜日・日曜日・祝日 午前 10 時から午後 3 時

7つの地域図書館のご紹介

宝島

(品野台小学校

地域図書館

(メディアルーム))

瀬戸市上品野町

1234 番地



光陵中学校

地域図書館

瀬戸市萩山台

9 丁目 244 番地

西陵小学校

地域図書館

瀬戸市すみれ台

1 丁目 77 番地



水野小学校
地域図書館
瀬戸市小田妻町
2丁目22番地



東山小学校
地域図書館
瀬戸市東山町
71番地



幡山西小学校
地域図書館
瀬戸市幡西町
203 番地



にじの丘ライブラリー
(にじの丘学園内)
瀬戸市中山町
1 番地 57



地域図書館に関するお問い合わせ・連絡先：

せ と し り つ と し ょ か ん
瀬戸市立図書館（本館） 住所：瀬戸市東松山町 1-2

☎ 8 2 - 2 2 0 2

e-mail toshokan@city.seto.lg.jp

改修方針・施設利用イメージ

改修後の目指す姿

大人がゆっくり楽しめる。子どもも一緒に楽しめる。

テーマ別配架

書架については、棚の組み合わせの自由度の高いものを採用する。
現児童コーナーをメインスペースとし、テーマ別配架を行う。

閲覧席の増設

くつろいで読書ができるラウンジを設置する。
書架の間に閲覧席を設置する（本に囲まれて読書できる）。

交流の場をつくる

現在の集会室をアクティブラーニングに利用できるようにする。

サイレントルームの設置

バリアフリー対応の観点から、例えば、現在の開架書庫の2層部分を学習スペースに変更し、一部個別ブースを設置する（書架の棚板を外し、机を設置し学習スペースとする）。床は消音対策を行う。

親子で過ごせる空間の設置

親子で気兼ねなく過ごせる場所、読み聞かせができる場所と、ベビールーム（授乳室）を設置する。